



出家 健治 教授

出家健治教授の退職記念号によせて

熊本学園大学 学長 細 江 守 紀

出家健治先生は、1972年3月に広島商科大学（現・広島修道大学）商学部経営学科をご卒業後、広島修道大学大学院商学研究科商学専攻に進学され、1976年3月に修士課程を修了されています。1977年4月に同研究科博士課程へ進学、1980年3月に単位取得満期退学されて、引き続き同大学において商学部研究助手をお務めになった後、1981年4月に熊本商科大学商学部専任講師として着任されました。

本学では市場調査論のご担当として教壇に立たれ、その後、1986年に助教授、そして1993年には教授へと昇格されています。学務多忙な中、大学運営においても1994年1月から1995年12月まで第一部商学科長、2002年1月から2003年12月まで大学院商学研究科長、2012年1月から2014年3月まで商学部長、そして2019年4月から9月までインクルーシブ学生支援センター長として役職を歴任されました。

先生のご専門は商業論であり、零細小売業や都市流通、とりわけ地域産業の活性化など、多岐に亘り研究及び分析を続けておられます。2006年には、商学研究科の院生による屋根付き三輪自転車（ペロタクシー）を活用した熊本市の新町・古町（慶徳・五福校区）のまちづくり活動の後押しをされ、NPO法人設立・実業化へと繋いでおられます。また、各種学会のご活躍だけでなく、学内外の研究活動を通じて行政やまちづくりに深く関わってこられ、2002年に『零細小売業研究』（MINERVA 現代経済学叢書）、2008年には『商店街活性化と環境ネットワーク論』（晃洋書房）の単著を上梓され、他にも多数の共著を出されています。

教育においては、商学論のほか、地域流通研究、商業構造論研究指導を担当され、多くの学生、院生の指導にあたられました。また、ゼミ生達と一緒に子飼商店街の活性化案を提案されるなど、常に活発なゼミ活動を展開されています。

出家先生とは2012年に私が経済学部長になった折、商学部長をされていたので、学部長会で一緒にさせていただきました。当時の岡本恵也学長のさまざまな提案に対して学部長として対応に苦心しましたが、先輩学部長として、有益なご意見をいただき、そのつど感心していたものです。

長年にわたって本学の発展にご貢献いただいた出家先生は、2020年3月をもってご退職となりました。引き続きシニア客員教授として教育・研究・社会貢献にもご尽力いただいていることはたいへんありがたいことです。これから先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学へと発展させていくことが後進としての私たちの役目です。

出家健治先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。

出家健治教授の退職記念号に寄せて

商学部長 吉 川 勝 広

出家健治先生は広島のご出身で1972年に広島商科大学（現：広島修道大学）商学部を卒業、広島修道大学大学院商学研究科修士課程、広島修道大学商学研究科博士課程と進まれ、1979年社団法人中国地方総合調査会研究員、1980年広島修道大学商学部助手を経て、1981年に熊本学園大学の前身である熊本商科大学商学部商学科に講師として着任、1986年に助教授、1993年に教授となりました。その後、1994年第一部商学科長、2002年大学院商学研究科長、2012年商学部長、2019年にインクルーシブ学生支援センター長と役職を歴任され、2020年3月に定年退職されました。

先生の研究は零細小売業を対象とされ、2002年には単著として『零細小売業研究 - 理論と構造』ミネルヴァ書房があり、日本流通学会賞を受賞されておられます。2008年には『「商店街活性化と環境ネットワーク論」- 環境問題と流通（リサイクル）の視点から考える -』晃洋書房では商店街活性を環境問題から考えるという視点を提示されました。「商業経済論」の視点から常に零細小売業を見てこられ、商店街とまちづくりにも研究のフィールドがあり、多くの研究業績を残してこられました。

また玉名市中心市街地活性化基本計画策定委員長、通産省の大規模小売店舗審議会委員をはじめ、水俣市、八代市、人吉市、大津町、横島町、不知火町、城南町、荒尾市といった商業の近代化にもかかわってこられました。

教育においては商学部で「商業論」、「地域流通研究」、大学院商学研究科では「商業構造論研究指導」を担当され、多くの学生、院生の指導にあたられました。特に教育面ではゼミ生と一緒に「子飼橋商店」の活性化案を提案されました。それに加え、学生懸賞論文にも積極的に応募されて入賞する学生がでるなど活発なゼミ活動を展開されてこられました。

他にも課外活動として1981年から長年、マーケティング研究会の顧問をされ、学生たちが論文大会で報告する際には、叱咤激励しながら論文指導をされておられました。先生は教育、課外活動において学生との距離が近く、かつ細かく丁寧な指導をされておられたことが思い出されます。

先生とは研究分野が近かったこともあり、日本商業学会、日本流通学会、流通経済研究会でも一緒にさせていただき、多くの研究者に影響を及ぼしてこられました。特に先生が流通経済研究会の代表世話人を務められた際、事務局として一緒に研究会開催のために奔走したことが思い返されます。

出家先生、長い間、商学部での学生の教育、研究ありがとうございました。退職後は少し自由な時間も増えるかと思います。なにとぞご健勝でありますようお祈り申し上げます。